

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年11月25日

協議会名: 倶知安町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
倶知安町	①東西ルート(市街地東西循環) ②東西ルート拡大 (市街地東西循環 ・DCM倶知安店経由) ③東西ルート快速 (市街地東西一部循環) ④東西ルート拡大・旭ヶ丘経由 (市街地東西循環・旭ヶ丘・ ・DCM倶知安店経由) ⑤東西ルート快速・旭ヶ丘経由 (市街地東西一部循環 ・旭ヶ丘経由) ⑥南北ルート(市街地南北循環) ⑦南北ルート拡大 (市街地南北循環 ・DCM倶知安店経由) ⑧南北ルート快速 (市街地南北一部循環) ⑨南北ルート・旭ヶ丘経由 (市街地南北循環・旭ヶ丘経由) ⑩南北ルート拡大・旭ヶ丘経由 (市街地南北循環・旭ヶ丘・ ・DCM倶知安店経由)	●安全安心な公共交通を確立 すべく、運転手との意見交換会 を実施 ●じゃがりん号の使い方(利用 方法)を広く周知し、利用したこ とのない町民に対し、利便性高 い公共交通ということを認識さ せた。	A 計画している運行日数、運 行回数どおりに実施した。	B 夏期には徒歩や自転車の利用 で、バス利用者が少なくなる が、冬期に利用者が増加する 傾向にあった。新型コロナウイルス の影響から回復した令和4 年から東西ルートでは若干の 減少傾向にあるが、南北ルート では増加傾向にある。全体乗 車数は、目標値27,767人に対 し、27,563人(達成度99.3%)、 運賃収入は、目標値2,197,400 円に対し、2,199,425円と(達成 度100.1%)目標値をやや超え る結果となった。 <各系統の目標値と実績値> ①東西ルート:1.8人⇒1.7人 ②東西ルート拡大:7.4人⇒7.2 人 ③東西ルート快速:3.3人⇒3.2 人 ④東西ルート拡大・旭ヶ丘経 由:6.3人⇒6.2人 ⑤東西ルート快速・旭ヶ丘経 由:5.7人⇒5.6人 ⑥南北ルート:4.0人⇒3.9人 ⑦南北ルート拡大:4.4人⇒4.3 人 ⑧南北ルート快速:1.4人⇒1.3 人 ⑨南北ルート・旭ヶ丘経由:2.8 人⇒2.7人 ⑩南北ルート拡大・旭ヶ丘経 由:4.1人⇒4.0人	【利用促進・利便性】 ○ルート・ダイヤ改正から6年 が経過し、これまでの運行実績 や実情に応じ、「集まる場所」へ のルート・ダイヤ設定など、 様々な方向から運行方法につ いて検討する。 ○じゃがりん号の使い方(利用 方法)を広く周知し、利用したこ とのない町民に対し、利便性の 高い公共交通ということを認識 させる。 【財源確保】 ○車体への協賛広告など、大 手企業からの広告収入の検討